



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東 福

上場会社名 西部電機株式会社

コード番号 6144 URL <http://www.seibudenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 颯

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当兼管理部長 (氏名) 藤岡 敬正

TEL 092-943-7071

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,576	23.5	371	—	390	574.5	117	—
23年3月期第3四半期	7,756	△4.9	20	△80.2	57	△71.8	△3	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 134百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △464百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.38	—
23年3月期第3四半期	△0.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,371	14,321	61.3
23年3月期	22,982	14,292	62.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 14,321百万円 23年3月期 14,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	3.75	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	20.1	720	68.4	740	50.3	350	55.8	24.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	15,160,000 株	23年3月期	15,160,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,110,241 株	23年3月期	1,109,301 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	14,050,269 株	23年3月期3Q	14,052,358 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、生産の停滞、輸出の減少、個人消費の低迷など厳しい状況下にありましたものの、サプライチェーンの復旧により、生産活動も回復してまいりました。しかしながら、EUの財政危機や米中など海外経済の減速、円高、電力不足など多くの懸念材料を抱え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

この様な情勢の中で、当社グループは「商品力の向上」ならびに「販売力の強化」によって、安定成長を実現すべく、全社を挙げて努力してまいりました。その結果、当社グループの連結業績は、受注高は107億8千9百万円（前年同期比13.4%増）、売上高は95億7千6百万円（前年同期比23.5%増）となりました。また、損益においては、経常利益は3億9千万円（前年同期比574.5%増）、四半期純利益は1億1千7百万円（前年同期は、四半期純損失3百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 搬送機械事業

搬送機械事業では、震災や円高の影響から国内の設備投資計画の見直しなどがありましたものの、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫の拡販やサービス・メンテナンスにも注力してまいりました。その結果、大手機械メーカーからの大口物件の成約もあり受注高は45億5千5百万円（前年同期比27.8%増）、売上高は44億8百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

## 産業機械事業

産業機械事業の産機部門では、公共投資抑制の影響を受けるなど厳しい環境の中ではありましたが、民間需要の掘り起こしや既存市場のシェアアップ、ゲート市場への拡販や震災復旧のためのサービス・メンテナンスに注力してまいりました。また、精密機械部門では、円高やIT関連市場の世界的な需要低迷などの影響がありましたものの、既存顧客の更新需要や海外の新規商社の開拓に注力するとともに、半導体や光学、自動車市場などに拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は58億7千3百万円（前年同期比4.0%増）、売上高は48億1千7百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

## その他の事業

その他の事業では、駐車場装置の増加などにより、受注高は3億6千万円（前年同期比19.9%増）、売上高は3億5千万円（前年同期比18.6%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より3億8千9百万円増加し、233億7千1百万円となりました。その主な要因といたしましては、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が10億6千3百万円、所有株式の時価が下がり投資有価証券が3億8千1百万円、それぞれ減少しましたものの、売上債権の回収により現金及び預金が12億3千1百万円、第4四半期の売上の増加に伴い原材料及び貯蔵品が4億9千9百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より3億6千1百万円増加し、90億5千万円となりました。その主な要因といたしましては、法人税の支払いにより未払法人税等が1億3千万円、税

制改正による法人税の税率引き下げにより再評価に係る繰延税金負債が2億4千8百万円、それぞれ減少しましたものの、仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が7億6千3百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より2千8百万円増加し、143億2千1百万円となりました。その主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が2億3千2百万円減少しましたものの、土地再評価差額金が2億6千7百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。従いまして、現段階では平成23年5月13日の発表時の業績予想数値を継続したいと考えます。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当第3四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,701,231	4,933,098
受取手形及び売掛金	6,033,500	4,970,369
仕掛品	783,514	1,009,345
原材料及び貯蔵品	772,095	1,271,985
繰延税金資産	194,047	78,520
その他	87,093	52,021
貸倒引当金	△17,816	△9,921
流動資産合計	11,553,667	12,305,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,913,288	2,811,513
土地	5,115,014	5,087,078
その他(純額)	524,544	502,514
有形固定資産合計	8,552,848	8,401,107
無形固定資産		
投資その他の資産	21,017	18,105
投資有価証券	2,011,978	1,630,640
その他	873,559	1,051,718
貸倒引当金	△30,600	△35,100
投資その他の資産合計	2,854,938	2,647,258
固定資産合計	11,428,803	11,066,471
資産合計	22,982,470	23,371,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,185,453	3,949,374
短期借入金	620,250	620,250
未払法人税等	203,847	73,071
その他	930,815	879,240
流動負債合計	4,940,366	5,521,935
固定負債		
長期借入金	336,000	336,000
再評価に係る繰延税金負債	1,989,538	1,740,590
退職給付引当金	1,146,580	1,146,133
役員退職慰労引当金	169,993	174,919
その他	107,152	131,119
固定負債合計	3,749,264	3,528,762
負債合計	8,689,630	9,050,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658,400	2,658,400
資本剰余金	2,502,759	2,502,759
利益剰余金	5,944,266	5,938,534
自己株式	△291,376	△291,706
株主資本合計	10,814,049	10,807,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	577,544	344,906
土地再評価差額金	2,901,245	3,168,298
その他の包括利益累計額合計	3,478,790	3,513,205
純資産合計	14,292,840	14,321,193
負債純資産合計	22,982,470	23,371,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,756,549	9,576,693
売上原価	5,833,323	7,186,009
売上総利益	1,923,226	2,390,683
販売費及び一般管理費	1,902,943	2,019,218
営業利益	20,282	371,465
営業外収益		
受取利息	1,365	1,120
受取配当金	25,223	31,787
助成金収入	11,820	—
その他	14,313	16,016
営業外収益合計	52,723	48,924
営業外費用		
支払利息	9,701	9,526
コミットメントフィー	3,548	18,398
その他	1,845	1,871
営業外費用合計	15,096	29,796
経常利益	57,909	390,592
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,185	—
固定資産売却益	—	359
特別利益合計	1,185	359
特別損失		
固定資産売却損	—	24
固定資産除却損	453	14
投資有価証券評価損	310	925
ゴルフ会員権評価損	6,537	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,607	—
環境対策費	11,823	—
減損損失	—	27,935
特別損失合計	31,731	28,899
税金等調整前四半期純利益	27,363	362,052
法人税、住民税及び事業税	29,630	77,454
法人税等調整額	1,150	166,847
法人税等合計	30,780	244,301
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,417	117,751
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,417	117,751



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,417	117,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△461,293	△232,638
土地再評価差額金	—	248,947
その他の包括利益合計	△461,293	16,309
四半期包括利益	△464,710	134,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△464,710	134,061
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。